



「水利が拓く 実りの明日へ」  
キャンペーン

4年目を迎えた「水利が拓く実りの明日へ」キャンペーン。紙面では、過去から現在、そして未来にわたり地域の農業を支え続ける土地改良事業を紹介するとともに、県内の農業水利施設や地域で頑張る生産者らにスポットを当ててきました。2019年度総括シンポジウムでは、そんな生産者らが農業や地域の未来について語り合います。創作料理やミニマルシェで、あなたも水利の恵みに触れてみませんか。

# 2019年度総括 シンポジウム

& 小さな市場 ミニマルシェ

参加費  
無料  
定員120人

2020  
1/25(土) 13:00~16:00 (予定)

(ミニマルシェ・受付開始 12:00~)

新潟日報メディアシップ  
2階日報ホール 新潟市中央区万代3-1-1

基調  
講演

佐渡から世界へ  
旅する地酒、は生産地の  
魅力を伝える語り部

尾畑酒造「真野鶴」  
五代目蔵元  
尾畑 留美子さん



～Profile～

1965年、佐渡市出身。慶応大学法学部卒。日本ヘラルド映画(当時)の宣伝プロデューサーを経て95年、生家の蔵を継ぐ。廃校となった小学校を仕込み蔵として再生させる「学校蔵プロジェクト」に取り組むなど、島の活性化、島の魅力発信に力を入れている。尾畑酒造専務取締役。

パネル  
ディスカッション

## 未来へつなぐ 農業と土地改良

～生産・土地改良の現場から～

- 岩坂 省三さん (栄北部株式会社代表取締役社長)
- 高塚 俊郎さん (タカツカ農園代表)
- 池田 広之さん (JA佐渡水稻部会長)
- 佐藤 毅さん (北陸農政局新潟県拠点・総括農政推進官)

コーディネーター 伊藤 忠雄さん (新潟大学名誉教授)

水利の恵みを  
味わって

## 刈谷田川右岸、阿賀野川左岸、 佐渡の農産物を使った創作料理

～大ロレンコン、サトイモ、リンゴジュース～

● ケータリングチームDAIDOCOが提供

小さな市場 ミニマルシェ in 日報ホール 「ホワイエ」 ※シンポジウムに参加されない方も購入できます。

## 応募方法

参加者全員の①郵便番号②住所③氏名④年齢⑤電話番号を記入し、はがき・ファクス・Eメールで受け付けます。いずれも「水利シンボ係」と明記してください。

《はがき》〒950-8535 新潟市中央区万代3-1-1  
《ファクス》025-385-7476 (Eメール) minori@niigata-nippo.co.jp

キャンペーン特設サイト(<https://minori-niigata.jp/>)からもご応募いただけます。



- ◎主催/農林水産省北陸農政局 ◎共催/新潟日报社
- ◎後援/新潟県、新潟県土地改良事業団体連合会、JAグループ新潟

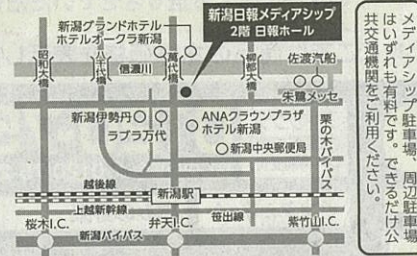
◎特設サイトでこれまでの紙面や県内の農業水利施設を紹介しています。

水利が拓く 実りの明日へ 検索

## 応募締切

2020年  
1月16日(木) 必着

※応募多数の場合は抽選とし、当選者には参加証を発送します。お寄せいただいた個人情報は、本キャンペーンのみに使用します。



メディアシップ駐車場、周辺駐車場  
はいずれも有料です。できるだけ  
公共交通機関をご利用ください。

「水利が拓く 実りの明日へ」キャンペーン事務局 (新潟日报社広告部内)

新潟市中央区万代3-1-1

●TEL 025-385-7474 (土日祝日を除く/10:00~17:00)